

(11) 倫理委員会

実施日	内 容	参加者
4月15日	虐待防止に係るチェックシートの実施について 倫理委員会園内研修会について	4名
5月12日	虐待防止に係るチェックシートの実施について ①実施方法について	4名
5月26日 ～ 6月6日	虐待防止に係るチェックシートの実施	職員50名実施
7月1日	平成26年度の倫理委員会園内研修について 虐待防止に係るチェックシートの集計について	4名
7月15日	倫理委員会園内研修会「虐待防止について」 相談支援事業所くじら管理者 幸田裕司氏	職員20名参加
8月21日	虐待防止に係るチェックシートの集計について	3名
3月24日 ～ 3月31日	虐待防止に係るチェックシートの実施	職員53名実施

食事サービス

管理栄養士 米澤侑子

(1) 給食状況(食数)

	検食時間	検食者	喫食時間	生活介護	就労	センター	短期入所	日中一時	計
朝	7:30	夜勤・宿直者	7:45	31,304			816	1	32,121
昼	11:30	施設職員	11:45	26,589	3,997	3,675	888	296	35,445
夕	17:30	夜勤・宿直者	17:45	31,265			904	139	32,308
計				89,158	3,997	3,675	2,608	436	99,874

(2) 調理従事者

管理栄養士	調理員	計
1名	6名	7名

(3) 給与栄養目標及び給与量

栄養素	基準値	給与量	栄養素	基準値	給与量
エネルギー	1,920kcal	1,860kcal	V. B2	1.39mg	1.32mg
たんぱく質	62.0g	66.7g	V. C	100mg	138mg
脂質	47.0g	39.3g	食物繊維	19.0g	15.0g
炭水化物	312.0g	302.6g	食塩総量	8.3g	7.4g
カルシウム	1,100mg	1,102mg	炭水化物エネルギー比率%	65%	65%
鉄	18.0mg	16.7mg	脂質エネルギー比率%	22%	20%
V. A	793 μg	691 μg	たんぱく質エネルギー比率%	13%	15%
V. B1	1.23mg	1.83mg			

(4) 食品構成及び給与量

食品群		構成値(g)	給与量(g)	食品群		構成値(g)	給与量(g)
魚介類	生	55g	57.5g	いも類	いも類	60g	44.2g
	干物・乾物・塩蔵	5g	2.4g		いも加工品	5g	3.6g
肉類	練製品	10g	9.5g	果実類	果実類	80g	62.6g
	肉類	55g	64.8g		加工品	5g	0.7g
乳・乳製品	加工品	10g	8.9g	穀類	米	250g	242.1g
	牛乳	180g	181.9g		パン	25g	27.0g
卵類	乳製品	45g	65.4g	その他の穀類	めん類	20g	24.6g
		20g	23.9g		その他の穀類	2g	1.5g
野菜類	緑黄色野菜	160g	135.1g	豆類	大豆・その他の豆	5g	1.0g
	その他の野菜	200g	211.5g		大豆製品	40g	37.3g
野菜漬物	乾燥野菜	5g	4.0g	油脂類	油脂類	13g	6.5g
	野菜漬物	4g	1.2g		調味料	調味料	200g

きのこ類		30g	21.6g	砂糖及び甘味料		10g	10.7g
藻類		3g	1.5g	その他の食品		35g	46.1g
種実類		3g	1.4g	菓子類		2g	2.5g

(5) 食事形態(重複)

一般食	人数	特別食	人数
普通食(特大)	11名	減塩食	14名
普通食(大)	33名	減量食	29名
普通食(小)	14名	アレルギー食	1名
		刻み食	40名

(6) 行事食

実施月日	行事	内容	実施月日	行事	内容
4月1日	お花見	お花見弁当	12月26日	忘年会	鍋料理
5月5日	端午の節句	柏餅	12月31日	大晦日	年越しそば
7月1日	開園記念日	記念日メニュー	1月1日	元旦	おせち料理
7月7日	七夕	七夕メニュー	1月7日	七草粥	七草粥
8月15日	お盆	おはぎ	2月3日	節分	巻きずし
10月19日	家族交流行事	いもたき	2月14日	バレンタイン	チョコムース
11月1日		くりご飯	3月3日	桃の節句	ちらしずし
12月7日	餅つき	餡餅	3月10日	レクリエーション	特別メニュー
12月25日	クリスマス会	バイキング料理 クリスマスケーキ			

(7) 食中毒防止対策

- ・調理従事前の手洗いの徹底
- ・喫食2時間前調理の実施
- ・月1度の検便の実施(赤痢、サルモネラ、0-157、ノロウイルス)
- ・調理後の食品は適切な温度管理のもと保管
- ・調理場の定期的な清掃と業者による害虫駆除
- ・原材料の適切な下処理・洗浄(場合により消毒)
- ・加熱調理食品の十分な加熱(中心温度85℃～90℃で1分半以上の加熱)
- ・調理従事者の毎日の健康チェック

保 健 衛 生

看護師 岡崎早苗

利用者の健康状態を昼間及び夜間の生活のあらゆる機会を通して看護師、生活支援員が把握に努めました。また、健康診断や日々の健康状態把握において病気の早期発見に努め、異常等の問題が発生した場合は、早急に医療機関と連絡をとり、通院治療・入院治療を行いました。また、園内処理できるときは、病気の治療・予防等の支援を行いました。

○ 健康診断

- ・第一回＜愛媛県総合保健協会＞（6月26日） 87名実施。
- ・第二回＜喜多医師会病院＞（10月1日～12月19日） 87名実施。

年2回健診を行い、結果についてはかかりつけの医師に相談しながら必要に応じて二次検査等を進めていき治療を行いました。

○ 歯科検診＜愛媛県歯科巡回診療＞（5月8日） 88名実施。

○ 感染症発症について

感染症対策として、年間を通しての通常の清掃の取り組みの見直しを行い実施しました。その結果、今年度はインフルエンザ、ノロウイルスの発生はありませんでしたが、12月に流行性角結膜炎（アデノウイルス感染）に3名が感染し、12月19日には感染症対策委員会を開き蔓延対策の強化を図りました。1月には終焉し蔓延することはありませんでした。

○ 予防接種

- ・インフルエンザ予防接種（12月17日・12月19日）86名実施。
- ・肺炎球菌感染症予防接種＜大洲市による高齢者の今年度該当者＞ 4名実施。

○ 運動機能訓練について

- ・運動機能低下予防のため、健康運動指導士の露智子氏に依頼し、毎月1回スマイル体操を実施しました。毎日の日中活動・余暇の時間等で体操等取り入れて、低下予防に取り組みました。
- ・運動機能訓練指導員として看護師による訓練を行いました。

○ 通院状況

定期的に通院を実施し、投薬、処置等するとともに、日々の生活の中において個別に食事療法、適度な運動、日光浴（外気浴）等、疾病の予防に取り組みました。

○ 入院状況

7名が入院治療をしました。（骨折、肺炎、腸間膜静脈硬化症、便秘、脳出血）

生活介護（定員 75 名）

サービス管理責任者 中野利子・祖母谷洋子

日中活動班を、生活班・訓練班・おはな班（生産活動班）の3班としました。

定員 75 名で、6 月に 1 名の利用者が退所がありましたが、実質利用者 70 名/日で活動を行いました。6 月、7 月、12 月にそれぞれ 1 名ずつの計 3 名の職員が退職されました。が、10 月に 1 名、11 月に 2 名、12 月に 1 名、2 月に 1 名の計 5 名の職員を採用し、利用者支援の充実を図りました。

生産活動で出来た製品は、主に南予地方局八幡浜支局、大洲市都市整備課、清流園、大洲市学校給食センター、白石商店、井下商事、ポコペン横丁、上須戒地区や櫛生地区自治会、地域の方々や職員から草花苗や野菜・木工加工品等の注文を受けまして、販売をいたしました。施設内行事の「桃太郎工房祭り」「家族交流」「イルミネーション」、地域行事の「大洲隣保館まつり」「福祉と健康づくり市民の集い」「たいらの文化祭」に参加し、販売活動を通して、交流を図ることが出来ました。

年間活動で得た収益を一人当たり 5,195 円工賃として支給することが出来ました。

(1) 生活班

【利用者数】 18 名（男性 8 名～6/2 より 1 名退所・女性 10 名）

【支援員】 ◎富士耕一・谷山洋二・城戸千佳・西村由美
西山めぐ（7/10 まで）・木村龍之（6/30 まで）
松丸弘史（10/1 から）・宮岡美涼（12/1 から）
松末なぎさ（2/1 から）

【生活支援】

体調管理～日課の中で検温、必要者に応じて血圧測定を行い体調の観察を行った。排便状況の観察を行い、状況を看護師に報告し、緩下剤・坐薬などの使用を行って排便のコントロールを行った。

身だしなみ～季節や気温に応じた調節、外出時の服装を支援し、男性は髭剃りの支援を行った。

排泄～トイレでの排泄習慣が得られるように、定期的にトイレへの誘導を行った。

居室整理～居室の清掃、寝具の整えを行い、洗濯後の衣類収納や整理、季節に応じた衣替えを行った。

食事支援～健康に応じた食事内容を提供し、必要者には本人に合ったエプロン、スプーンを購入して自分で食事が行えるようにし、好き嫌いなく食事摂取が出来るように介助を行った。

入浴支援～15:00 より入浴を開始し、洗体、洗髪の支援をし、身体に応じて特殊浴槽

での入浴を行い、ゆっくりと入浴が楽しめるようにした。

入浴日には着替えの準備を行い、清潔な衣服の着用を支援した。

移動支援～身体状況、体調に応じて歩行器、車椅子、手すりを使用し、移動時の介助を行った。歩行時には転倒して怪我をしないように安全な移動の支援を行った。

園外活動～利用者の要望を聞きながら、支援員が付き添って買い物をしたり、地域の行事に参加したりして、園外での活動が楽しめるように計画を立て実施した。

【活動】

午前～生活支援後、2F 会議室に移動し、リズム運動やストレッチ運動を行い、個々の状況に応じた運動を支援し、便秘症状の利用者には腹部のマッサージなどを行った。カラオケや輪投げ、ボーリングゲーム等を行い、活動中には音楽をかけ、リラックスして活動が楽しめるようにした。

午後～フロアやグラウンドでの歩行運動、ストレッチ運動を中心に行い、天候が良い時は屋外での日光浴を実施し、体力、運動機能低下防止を図った。また、食堂のテレビとカラオケに内蔵された体操プログラムを利用し、画面を見ながら楽しんで身体を動かすようにした。洗濯物が戻ると、衣類の片づけや室内の整理などを行った。

スマイル体操～専門講師を招き、手足を動かす体操、ボールや布を使用した運動、口腔体操などを行い、楽しんで体を動かすことが出来た。

レクリエーション～年間に3回実施した。6月は、大洲城山園外に行き、お弁当を食べて散策やゲームを楽しんだ。1月は、新年会を兼ねて「ホテルにし川」で会食し、カラオケを行って活動を楽しんだ。3月は、近くのゲートボール場付近で、園で作って頂いたお弁当を食べ、お花見を楽しんだ。

【利用者の状況】

健康状況、身体状況より歩行器や車椅子を使用する利用者が増えた。体力や運動機能の低下を防止するために、機能訓練やリハビリ、歩行運動などを実施した。

6/2に家族の都合により1名退園している。

情緒不安定な利用者との間で、押されて転倒し怪我をした利用者もいた。

健康状況から入院した利用者が1名あり、9/24～9/30まで入院した。

【事業計画に対する実行と反省点】

事業計画に沿って活動を行ったが、高齢化し、身体機能が低下していく利用者に対して、機能低下防止、筋力低下防止の対応が十分に実施出来なかった。日中の活動内容にも、利用者個々に応じた対応が十分に実施出来なかった。

【総括】

利用者個人の状況に差異はあるが、活動時には音楽を聴いてリラックスして過ごせる

環境作りを行った。生活支援の中で、体調把握をし、排便コントロールを看護師と連絡を取りながら対応した。機能低下防止のために歩行運動や機能訓練をすすめ、元気で過ごす事を優先に支援した。

(2) 訓練班

【利用者数】 21名（男性11名・女性10名）

【支援員】 ◎高橋系子・石間明彦・菊池潤一・白石亮・梶谷富美庫・二宮富子 6名

【生活支援】

体調管理～日課の中で検温や必要に応じて血圧測定を行い健康確認を行った。

排泄状況の観察を行い、便秘状況の場合は水分をこまめに摂るようにし、看護師に報告し緩下剤等で排便のコントロールを行った。

身だしなみ～季節や気温に応じた服装の着用を支援し、男性は髭剃りの支援を行った。

排泄～トイレでの排泄習慣が得られるように、定期的にトイレへの誘導支援を行った。

居室整理～居室の清掃や寝具の整えを行い、洗濯後の衣類収納や整理、季節に応じた衣替えを行った。

食事支援～健康に応じた食事内容を提供し、必要者にはエプロンやスプーンを使って食事が行えるようにした。また、好き嫌がなく食事摂取が出来るよう支援を行った。

入浴支援～15:00より入浴を開始し、洗体洗髪の支援を行い、身体状況に応じ特殊浴槽を使用し、ゆっくりと入浴が楽しめるようにした。

移動支援～足元が不安定な利用者には、介助を行い転倒し怪我をしないように安全な移動の支援を行った。

園外活動～利用者の意向を聞き話し合っ、支援員と買い物に出かけたり、外食したりして、園外での活動を楽しめるよう計画を立てて実施した。

【活動】

午前～環境整備として食堂や食堂前廊下・利用者玄関付近の清掃を行った。また、手拭タオルや入浴タオルのたたみは、希望者で行った。

午後～天候や季節に応じてフロアやグラウンドで歩行運動を行い、ストレッチ運動で体力や運動機能低下の防止を図った。便秘症の利用者には、腹部マッサージを行い排泄の促しを行った。カラオケを利用し、テレビ体操や音楽でリラックスして活動を楽しめるようにした。また、晴天時には日光浴を実施した。

スマイル体操～年3回、専門講師の指導の下で手足を動かす体操・ボールや布を使用した運動・発声などを楽しみながら行うことが出来た。

レクリエーション～年間3回実施した。5月は、富士山つつじ公園へ行き、お弁当を食べ、散策を行った。10月は、如法寺河原で芋炊きを予定していたが、雨

天の為「ホテルにし川」で芋炊きを楽しんだ。3月は、園の駐車場で、お花見弁当を外注して食べ、お墓周辺を散策した。

【利用者の状況】

高齢化し、身体機能低下や足元が不安定な利用者が増えている。体力や運動機能低下を防止するため、機能訓練として歩行運動等を実施した。また認知症状が見られている利用者もあった。

【事業計画に対する実行と反省点】

事業計画に沿って活動を行ったが健康や体力・運動機能の低下で利用者個々に応じた対応が十分に出来なかった。

【総括】

午前環境整備では、各自の自分の仕事という意識が伺えた。今後は、それぞれの利用者の状況に応じた活動を進めていきたい。

(3) おはな班

【利用者数】 31名 (男性 17名・女性 14名)

【支援員】 ◎中岡靖之・岩津哲也・角藤昭文・水本百合子・松本直美・天野愛・大野トモエ・坂田真知子(10月末で退職)・猪野木雅彦・西野克美(11月より)～8名でスタートし、10月に1名の支援員退職、11月より2名の支援者が参加で9名で支援を行う。

【支援内容】 利用者の状況に応じて、3班に分かれて支援を行いました。

① 農業活動では、玉ねぎ、ジャガイモ、サツマイモを栽培し植え付けから施肥、除草収穫、販売準備等を支援しました。

木工活動では、ベンチ、縁台、本棚、巣箱、羽子板の注文を受け、主にペーパー掛けや組み立て等の支援を行いました。

② 園芸活動では、花苗(マリーゴールド、サルビア、日々草、松葉ボタン、パンジー、ビオラ)の播種、土作り、ポット取り、施肥、水やり、出荷準備等を支援しました。冬場や雨天時は室内でポット拭きや軽運動を支援しました。

③ 機能訓練活動では、各利用者の状況に応じた運動を取り入れ、リズム運動やストレッチ、歩行、創作活動(段ボールちぎり、張り絵、行事の飾り作り等)、カラオケ、ゲーム(ボーリング、輪投げ等)を中心に支援を行いました。

④ 年3回のレクリエーションは利用者の希望を取り入れながら計画し、7月は「河辺ふるさとの宿」、1月には「ホテルウエストリバー」で新年会を兼ねた会食会、3月は野村町「ホワイトファーム」や宇和町の「愛媛県歴史文化博物館」で雛人形展の観賞等を行い、それぞれバスを利用しての外出を楽しみリフレッシュする事が出来ました。

【利用者の状況】

健康管理には十分注意をし、各自の能力に応じて無理のない活動を行い、活動場への移動支援や感染症予防にも気をつけて手洗いやうがい等の支援を行いました。体調を崩され入院された利用者が2名おられ、1名は退院後元気に活動に参加され、1名は現在も入院中ですが、退院に向けてリハビリを頑張っています。

【事業計画に対する実行と反省点】

第1農場で収穫した玉ねぎが不作(小さい)で給食センターには大きい玉ねぎのみ納品し、小さい物は地域行事や職員販売を行いました。あまりにも小さい物は破棄しました。原因としては、農場に行く回数も少なく手入れが不十分なことや第1農場は土が硬い事もあり、玉ねぎではなく、じゃがいもやサツマイモを定植したほうが良いと思われました。園芸の草花栽培は、大洲市役所から事前に注文を受けたため、計画的に取り組むことが出来ました。栽培も順調で、納期に合わせて納品することが出来ました。

機能訓練は、支援者の勤務状況によっては十分な活動が出来ないこともあり、利用者の活動意欲を引き出す事が難しかったため、今後は個人に合った支援内容を計画し、体力低下の予防に努めていきたい。

【地域交流・販売】

南予地方局、大洲市役所、ポコペン横丁、地域行事販売、園内行事等販売等を行いました。また地域の方々と販売等を通じて交流も行い、作業意欲も高まりました。

【総括】

サービス計画に基づいて実施しましたが、木工製品の作成では利用者が関われる内容が少なく、主に木片磨きが中心になったこともあり、今後は全体的に活動内容を見直し、利用者が意欲的に取り組める内容を検討して、働く事で工賃が得られる喜びなどを感じることができるような支援を行いたいと思います。

就労移行支援事業（定員 6 名）

サービス管理責任者 池田隆三

【活動内容】

平成 24 年度より就労移行支援事業所の利用期間の 2 年間を経過し、平成 26 年度については、就労継続支援 B 型(利用者 3 名)で事業計画に沿って活動し、就労を希望される障害者に対して必要な知識の習得及び能力の向上を図るため、サービスを提供し地域への移行をサポートする。またスポーツ大会や地域行事等の参加により、地域との交流を図り障害者への理解を深めた。

求職活動ではハローワークや就労支援センターからの求人状況を把握し職場実習にも積極的に参加している。また、利用者による事業所訪問は職員研修も兼ねて実施する。作業は干支置物の製造販売、外部作業（草刈）、職場実習を行った。各作業収益から毎月工賃(時給)を支払い、工賃と経費を差し引いた収益については年度末で算出し翌月に一時金として支払った。

個別支援計画については、3 カ月見直して支援を行い、職場実習においては 1 週間で見直しを行い製造技術、知識、就労意識の向上を支援した。

事業所内作業と外部作業に加え定期的な農業への職場実習を重ねるが、一般就労へは繋がらなかった。

【利用者数】 3 名（男性 2 名・女性 1 名）
【担当職員】 1 名 就労支援員 山本隆二

【利用者支援】

- ・ 個別支援計画に基づき個々の知識及び技術向上、良好な人間関係の構築、販売等による就労意欲向上に努めた。
- ・ 職場体験実習に参加し一般就労を目指した。
- ・ 感染症予防の為、就労棟、作業場の清掃消毒を毎日実施した。また、感染症予防対策園内研修にも参加し環境整備に努めた。

【実行と反省点】

- ・ 干支置物については、5 月から製造を開始し 11 月には生産を完了する。新たな販売先への営業を行うも、90 個程在庫になった。
- ・ 外部作業では県住宅敷地内草刈りと個人の栗畑等の草刈りの 3 件の依頼があった。忍知度はまだ低く PR 活動が必要である。
- ・ 利用者の希望を伺い、トマトの枝剪定と草引作業の職場体験実習へ年 4 回参加したが、一般就労へは繋がらなかった。

【販売先・地域交流】

- ・ 各種園内行事と地域での文化祭、福祉と健康づくり市民のつどい、七社参りでの販売を行う。干支等の販売には利用者も参加し、地域の方々とのコミュニケーションの場になり、労働意欲の向上にも繋がった。

【総括】

- ・ 就労移行支援事業所で製品を製造、販売により安定した工賃を支払う事が出来た。一層の工賃向上を目指し、就労への継続支援が必要である。
- ・ 利用者からの希望も踏まえ、高齢化、重度化が進む中で、就労移行支援の事業所継続が困難なため、次年度は就労継続支援 B 型(定員 20 名)の事業所を開設する。

就労継続支援 B 型 (定員 14 名)

サービス管理責任者 池田隆三

【活動内容】

平成 24 年度より就労移行支援事業の期間の 2 年間を経過し、平成 26 年度については、就労継続支援 B 型を開設し、就労を希望される障害者に対して必要な知識の習得及び能力の向上を図るため、事業計画に沿ってサービスを提供する。また、スポーツ大会や地域行事等の参加により、地域との交流を図り障害者への理解を深めた。

利用者による他事業所訪問については、職員研修も兼ねて実施している。就労継続支援 B 型では、パン、クッキーの各作業収益から、毎月工賃を支払った。また、工賃と経費を差し引いた収益については年度末で算出し翌月に一時金として支払った。

職場実習については市内飲食店で 1 名の男性利用者が継続して通勤するが、髭にんにく農場へ勤めていた 2 名の男性利用者は、雇用先の業績不振から実習を終了している。

個別支援計画については、6 カ月見直しで実施。職場実習においては 1 週間で見直しを行い製造技術、知識、職場定着、就労意識の向上を支援した。

【利用者数】 14 名 (男性 7 名・女性 7 名)
【担当職員】 4 名 職業指導員…大野尚美、 生活支援員…二宮弘光、森康子、大森小織

【利用者支援】

- ・ 個別支援計画に基づき個々の知識及び技術向上、良好な人間関係の構築、販売等による就労意欲の向上について支援する。
- ・ 食品衛生及び感染症予防の為、就労棟、作業場の清掃消毒を毎日実施。また、感染症予防対策園内研修にも参加し食品製造前の手洗いは確認支援を続け、エプロン、帽子の洗濯や環境整備の支援を継続した。
- ・ 食品衛生管理上食品製造者全員の検便を年 3 回 (7 月 11 月 3 月) 実施する。

【実行と反省点】

- ・ 売れ筋商品の継続生産と売上の落ちている商品の生産見直しや新商品開発に努め、利用者の工賃アップを目指す必要がある。
- ・ 夏まつり、イルミネーション等行事にはパン、クッキーの販売を実施したが天候により売上数に差が生じるため、パンについてはロスが出ないように計画した。
- ・ クッキーについては、行事等での即売により認知度が上がり、個別に注文が入り様になっている。
- ・ 就労棟 (パン、クッキー工房、多目的室兼食堂、トイレ等) の消毒、清掃は月曜日から金曜日まで毎日行い感染予防、衛生管理に努めている。
- ・ 職場実習は「施設外支援」の括りのため、年間 180 日以内の勤務数に注意した。

【販売先・地域交流】

- ・ 主な販売先は、大洲北中学校、大洲喜多小学校、とみす寮・大洲市総合福祉センター・大洲学園・清和園・大洲幸楽園・白石商店・ミスト・くみあい食品・JA支所他、長浜ひまわり、各種園内行事と地域での文化祭、福祉と健康づくり市民のつどい、隣保間祭り、七社参り等での販売を行う。パン、クッキーの販売には利用者も参加し、地域の方々とのコミュニケーションの場になり、労働意欲の向上にも繋がった。

【総括】

- ・ 個別支援計画により利用者への製造に関する支援を継続し、知識向上や技術の習得、良好な人間関係の構築に努める。技術習得については、時間は要するものの確実に前進している状況である。
- ・ パン、クッキーの製造、販売の中で、食の安全を重視し衛生的な食品の取り扱いに注意し、食品衛生法により定期的に検便を実施した。
- ・ 桃太郎工房で製造した製品を販売する事で安定した工賃を支払う事が出来た。

13. 実習生・ボランティア受け入れH26年度

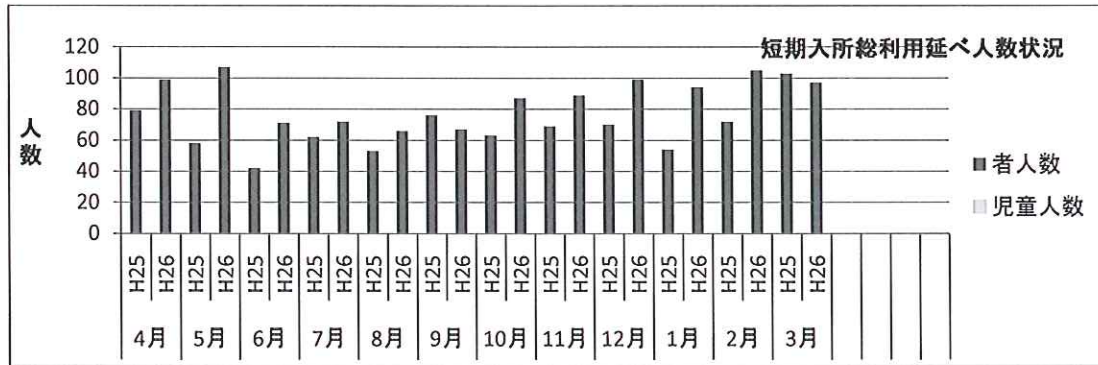
月	日	曜	学校・団体名	内容	参加者
4	26	土	ボランティア	趣味の披露	1名
8	9	土	ボランティア	桃太郎工房夏祭	学生・一般 16名
9	25 (木) ～ 26 (金)		大洲平野中学校	福祉施設体験実習	3年生 4名
10	2	木	ボランティア	日中・余暇活動のサポート	1名
10	22	水	ボランティア	日中・余暇活動のサポート	1名
10	6 (月) ～ 9 (木)		大洲北中学校	福祉施設体験実習	3年生 12名
11	20		ボランティア	日中・余暇活動のサポート	2名
12	7	日	一歩会	交流会 (餅つき)	18名
	11	木	ボランティア	イベント行事の準備	1名
	13	土	ボランティア	イルミネーション	17名
	25	木	大洲喜多法人会	交流会 (クリスマスケーキプレゼント)	3名
3	17	火	大洲平小学校	福祉施設学習	5年生43名 引率教員2名

短期入所事業

サービス管理責任者 祖母谷洋子

1, 実施利用状況

項目	児童	障害者	合計	前年度実績
定員	7名			
契約者	0名	20名	20名	21名
利用者延べ人数	0名	1053名	1053名	801名
開所日数	365日			365日
一日平均利用者人数	0.0名	2.9名	2.9名	2.2名

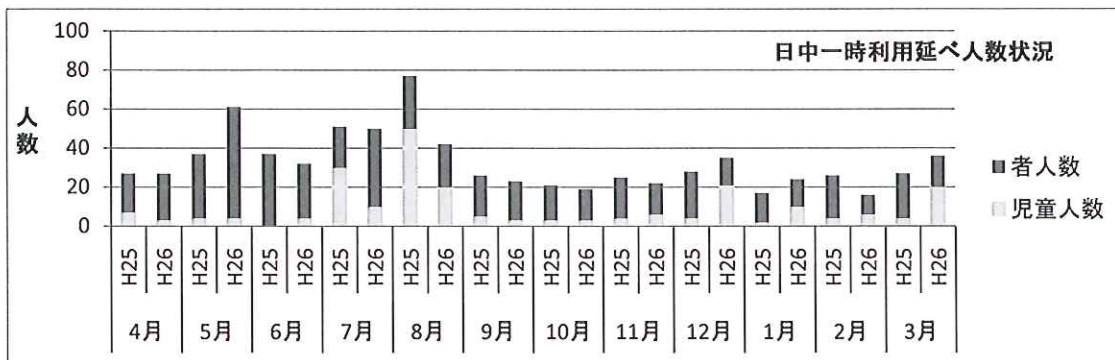


日中一時事業

サービス管理責任者 中野利子

1, 実施利用状況

項目	児童	障害者	合計	前年度実績
契約者	4名	12名	16名	24名
実利用者人数	32名	87名	119名	124名
利用者延べ人数	110名	253名	363名	401名
開所日数	365日			365日
一日平均利用者人数	0.3名	0.7名	1.0名	1.1名



生活介護・施設入所支援の支援内容に基づいて、支援を行いました。

地域活動支援センター

指導員 西川勝典、小林友紀、米澤昌史

1. 利用状況

項目	平成26年度			平成25年度		
定員	15人以上			15人以上		
契約数	22人	男性	10人	26人	男性	13人
		女性	12人		女性	13人
開所日数	244日			250日		
延べ利用者数	3,718人	1日当たり		3,900人	1日当たり	
		15.2人			15.6人	
延べ給食利用者数	3,723人	1日当たり		3,896人	1日当たり	
		15.2人			15.6人	
延べ送迎利用回数	6,032回	1日当たり		6,195回	1日当たり	
		24.7回			24.8回	

※4月に1名、5月に1名、9月に1名、H27. 3月に2名、利用を中止され、H27. 3月から1名利用となる。

平成27年3月 1日現在

		内 訳					
年齢構成		20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	合計
		8人	11人	2人	0人	1人	22人
地域別	大洲市	7人	10人	1人	0人	1人	19人
	内子町	1人	1人	1人	0人	0人	3人
障害状況	A	8人	8人	2人	0人	1人	19人
	B	0人	3人	0人	0人	0人	3人
障害程度区分	2	0人	2人	0人	0人	0人	2人
	3	3人	7人	2人	0人	1人	13人
	4	3人	2人	0人	0人	0人	5人
	5	1人	0人	0人	0人	0人	1人
	6	1人	0人	0人	0人	0人	1人

2. 活動内容

契約書・重要項目説明書に基づき、支援を行った。

利用者支援においては、個々の解決すべき課題を把握し、利用者や保護者の意向を踏まえて基本的な生活習慣が身につくよう、また地域生活への適応性を高め、楽しく活動でき、自立した生活が送れるよう支援を行った。また、健康状態の把握を行い、早期の対応に努めた。

(1) 創作活動

- ・手芸 毛糸の編み物、アクリルたわし作り。
- ・工芸、絵画 季節を表現した壁面作りを年7回行った。
七夕飾り（笹飾り）作りに取り組んだ。
- ・園芸 中庭で除草作業を行った。
- ・カラオケ 個々の歌いたい曲を歌ったり、リズムを取って楽しんだ。

生産活動

- ・リサイクル 空き缶(アルミ缶)リサイクルは、週2回活動に取り組み行った。

	26年度	25年度
生産数	420.0 kg	550.0 kg
収益	16,800円	22,000円

空き缶リサイクル活動の収入については、一人当たり700円 工賃として支払う予定。

(2) 機能訓練

- ・日常生活動作 食事・排泄・歯磨き・更衣などを必要に応じて支援を行った。
- ・歩行 健康増進と肥満対策のため、個々の利用者の身体状況に応じた歩行を行った。また、雨天時には、音楽に合わせて室内歩行・ストレッチ体操を行った。
- ・家事訓練 清掃活動を通して、掃除機掛け・拭き掃除・ガラス拭きを行った。昼食時には、テーブル拭き・配膳・片付けを行った。
調理実習でお好み焼き、焼きドーナツ、さつま芋の茶巾、ふんわりオムレット作りを行った。

(3) 社会適応訓練

- ・言葉や生活マナーなど 挨拶することを始め、交流の中で気持ちよく生活できるように心がけた。
食育体操を行い、食に関心を持ち、マナーや感謝することを伝え行った。
- ・社会体験 施設の行事、障害者福祉協会などの行事を通し、他の施設の利用者との交流を深めることができた。
- ・相談、援助 利用者及びその家族の方からの相談に可能な限り必要な支援に努めた。
- ・スポーツ・レクリエーション フライングディスクやレクリエーションバレーボールなどのスポーツ、風船バレー、ボーリング、ダンスなどのレクリエーションを楽しんだ。
・遠足（龍王公園）・そうめん流し（観音水・名水亭）・ミニ運動会（平公民館）・歴史を学ぶ（愛媛県歴史文化博物館）を楽しんだ。
- ・健康指導 検温、血圧測定、体重測定等を通して健康状態の把握に努め、異常が見られた場合には、保護者に連絡し対応に努めた。

- (4) 給食サービス 利用者の状況に応じて、刻み食・油抜き食・マンナン食・主食の大小などを用意し、食事支援・配膳支援を行った。

- (5) 送迎サービス 大洲市・内子町を送迎実施区域として、安全運転を心がけ送迎を行った。

3. 年間行事と内容

月	日	曜	行 事	場 所	内 容	参加者
4	1	火	お花見	ゲートボール場周辺	弁当を食べ、お花見を楽しむ。	17人
5	8	木	歯科検診（歯科巡回診療）	会議室	愛媛県歯科医師会による心身障害者歯科巡回診療を実	15人
	29	木	レクリエーション	内子町龍王公園	公用車で公園に行き、園内を散策し遊具等で遊ぶ。	19人
6	7	土	南予レクリエーションハレボール大会	宇和島市総合体育館	入所利用者と一緒に南予レクリエーションハレボール大会に参加	3人
	8	日	愛媛県障害者スポーツ大会	松山中央ボウル	ボウリングに出場する。	1人
	12	木	スマイル体操	日常生活訓練室	蒭講師を招き、リズム体操などを行う。	16人
	20	金	調理実習	日常生活訓練室	お好み焼きを作る。	18人
	25	水	避難訓練	グラウンド	実火災（厨房）を想定して避難訓練を行う。	17人
7	23	水	レクリエーション	宇和町観音水・名水亭	そうめん流しを楽しみ、公園を散策する。	15人
	30	水	大掃除	日常生活訓練室	床掃除、窓拭き、ワックス掛け。	16人
8	9	土	桃太郎工房夏祭り	グラウンド	バザー、アトラクションを楽しむ。	
	21	木	クリーンセンター（リサイクル）	クリーンセンター	アルミ缶リサイクル・販売を行う。	16人
9	24	水	ミニ運動会	大洲市平公民館	家族の方も応援に来られ、玉入れ、リレー等を行う。	18人
	25	木	平野中生・福祉体験学習	日常生活訓練室	平野中3年生、1人終日参加し実習する。	15人
	26	金	平野中生・福祉体験学習	日常生活訓練室	平野中3年生、1人終日参加し実習する。	18人
	26	金	避難訓練	グラウンド	実火災（厨房）を想定して避難訓練を行う。	18人
10	6	月	北中生・福祉体験学習	日常生活訓練室	大洲北中3年生、2人終日参加し実習する。	12人
	7	火	北中生・福祉体験学習	日常生活訓練室	大洲北中3年生、1人終日参加し実習する。	15人
	8	水	北中生・福祉体験学習	日常生活訓練室	大洲北中3年生、1人終日参加し実習する。	16人
	19	日	家族交流会（いもたき）	日常生活訓練室	入所更生と合同で実施する。	7人 保14人
	21	火	障害者スポーツのつどい	大洲市総合体育館	全員楽しく競技に参加している。	16人
	23	木	スマイル体操	スマイル体操	蒭講師を招き、リズム体操などを行う。	14人
11	26	水	調理実習	日常生活訓練室	焼きドーナツ、さつま芋の茶巾絞りを作る。	18人
12	10	水	大掃除	日常生活訓練室	床掃除、窓拭き、ワックス掛けを行う。	13人
	13	水	イルミネーション	育成園	バザー。イルミネーション鑑賞。	4人 保6人
	24	水	避難訓練	グラウンド	四国に地震が発生した想定で避難訓練を行う。	16人
	25	木	クリスマス会	日常生活訓練室	ダンス、歌合戦に参加する。昼食バイキングを楽しむ。	13人
1	7	水	書初め	日常生活訓練室	自分の好きな字を表現する。	15人
	28	水	避難訓練	2Fフロア	土砂災害、避難勧告発令によって避難する。	16人
2	3	火	節分 豆まき	日常生活訓練室	豆まきゲームを行う。	13人
	5	木	スマイル体操	日常生活訓練室	蒭講師を招き、リズム体操などを行う。	11人
	26	木	調理実習	日常生活訓練室	ふんわりオムレットを作る。	12人
3	17	火	平小学校5年生との交流会	日常生活訓練室	児童10人参加し、風船バレー・カルタ取りを行う。	13人
	26	木	クリーンセンター（リサイクル）	クリーンセンター	アルミ缶リサイクル・販売を行う。	11人
	27	金	レクリエーション	宇和町歴史文化博物館	館内の展示物を見学したり館外を散策する。	13人

相談支援事業所 大洲育成園

相談支援専門員 橋本哲志

I 障害児等療育支援事業

障害児（者）の地域での生活を支えるため、療育に関する相談・援助、各種福祉サービスの提供・調整を行いました。

【療育支援実績】 対象地域（大洲市・八幡浜市・内子町・伊方町）

事業名	内容	件数
在宅支援訪問療育等事業	支援スタッフが地域や家庭に訪問し、本人や家族からの相談に応じ家庭生活においてのアドバイス・援助をしました。	5
在宅支援外来療育等事業	本人や家族の方に来園して頂き、諸々の相談に応じるとともに療育に関する必要なアドバイス・援助を行いました。	15
地域支援一般指導事業	福祉事業所などに行き、在宅障害児（者）の保育・療育に関する相談を受け、必要に応じて専門機関の支援を頂きながら助言・援助を行いました。	1
合計		21

II 相談支援事業

地域で生活している当事者やその家族からの相談を受け、福祉サービスの利用援助に関する情報提供、社会資源を活用するための助言指導等、社会生活力を高めるための支援、権利擁護のために必要な援助、専門機関の紹介、関係機関や学校との連絡調整などの地域で生活していくための支援を夜間の緊急時の相談を含めて対応しました。

また、各市町の障がい者自立支援協議会の運営も行いました。

相談支援実施状況	大洲市		八幡浜市		内子町		合計	
	者	児	者	児	者	児	者	児
実人数	31	2	3	0	5	1	39	3
延件数	205	11	16	0	87	4	308	15

相談支援実施方法	大洲市	八幡浜市	内子町	合計
訪問	68	10	21	99
来所	15	0	4	19
同行	28	0	6	34
電話	34	2	46	82
電子メール	0	0	0	0
個別支援会議	10	1	2	13
関係機関	60	3	11	74
その他	1	0	1	2
計	216	16	91	323

相談依頼者状況	大洲市	八幡浜市	内子町	合計
本人	82	10	65	157
家族	45	1	9	55
地域住民	4	0	0	4
民生委員	0	0	0	0
医療機関	3	0	3	6
学校	8	0	1	9
市役所	15	0	3	18
関係機関	57	2	10	69
その他	2	3	0	5
計	216	16	91	323

相談内容状況	大洲市	八幡浜市	内子町	合計
福祉サービスの利用等に関する支援	63	1	18	82
障害や病状の理解に関する支援	0	0		
健康・医療に関する支援	28	4	14	46
不安の解消・情緒安定に関する支援	13	0	18	31
保育・教育に関する支援	10	0	27	37
家族関係・人間関係に関する支援	21	0	1	22
家計・経済に関する支援	16	4	4	24
生活技術に関する支援	24	5	1	30
就労に関する支援	18	0	3	21
社会参加・余暇活動に関する支援	0	0	0	0
権利擁護に関する支援	9	2	0	11
その他	14	0	5	19
計	216	16	91	323

Ⅲ 特定相談支援事業・障害児相談支援事業（計画相談支援）

大洲市から指定特定相談支援事業所者と指定障害児相談支援事業者の指定を受け、大洲市・内子町・八幡浜市・西予市に在住し福祉サービスを利用する方に対して、いわゆる計画相談を実施しました。

本人・家族の気持ちを聞かせていただき計画を作成し、利用事業所との連絡調整をはかり、モニタリングについても定期的に行いました。

サービス等利用計画を、契約者217名（者207名・児10名）に対し計画書を197件（者182件・児15件）作成し、モニタリングを98件（者95件・児3件）実施しました。

Ⅳ 大洲市障害者虐待防止対策支援事業・家庭訪問等個別支援事業

（1）内容

障害者虐待防止のため寄せられた情報を基に訪問をしていき調整を図りました。今年度は2件訪問をしました。